

キリスト教の教育への貢献 —キリスト教とは何か？②—

学校法人福岡女学院・院長 阿久戸 光晴

序. はじめに

「福岡女学院看護大学」の開設の経緯と「キリスト教による教育への貢献」について

1. 大切なものは目に見えない

(1) 「大切なものは目に見えない」(テグジュペリの言葉)

突然襲われる自然災害に翻弄されているが、これらの災いも。加えて過酷な戦乱とそれによる経済危機にも翻弄されている。

(2) 「目に見えない」感受性を培ってきた福岡女学院

(3) カルト的宗教への警戒

(4) コロナ禍と AI

2. 明治維新において欧米の宣教師たちの行動

(1) 女性はじめ社会的弱者への偏見

(2) 福岡女学院の創設

(3) アメリカ・プロテスタント・メソヂスト監督教会所属の女性宣教師ジェニー・ギールへの美以美教会(現在の日本基督教団「福岡中部教会」)の教会員たちの懇請の受諾

(4) 本校の経費と教育の概要

(5) 日曜日の礼拝・毎朝の礼拝とギールの臨終の言葉

(6) 学院聖句

3. キリスト教の教育への貢献

(1) 福岡女学院の試練

(2) 現在の試練—コロナ禍・自然災害・戦乱・少子高齢化—とそれらへの対処

(3) 高齢化社会と高齢化に伴う「医療の拡大」を予見した「福岡女学院看護大学」の創設

結. キリスト教の特徴

最後に、前回と今回のまとめの総括をする。

(1) キリスト教は見えざる神を信じ、神の愛を照り返して社会的弱者を愛する教えである。

(2) キリスト教は自己愛たる人の罪を問題視し、その自己愛は愛国主義と結びつきやすい。

(3) キリスト教が準拠する聖書の記述に即して社会と歴史は進む。「こういうわけで、男は父母を離れて女と結ばれ、二人は一体となる」との旧約聖書・創世紀 2 章 24 節) の一例は、わが国古来の家制度から個人化意識を生んだが、それは人類史と歩調を一にする。

(4) コロナ禍の意義について十分 剔抉^{てっけつ}ができなかったが、コロナ禍で予想される AI 支配の時代に対処して AI に支配されるのではなく、AI を支配できねばならない。

(5) またキリスト教は「復活と永生」というメッセージを有している。このことは高齢化社会においてやがて深刻な問題になるが、次の機会を待つ。